

- 問1 関東地方の人口統計において、東京都では昼間人口が夜間人口を上回る一方で、埼玉県や千葉県、神奈川県では夜間人口の方が昼間人口よりも多くなる傾向にあります。東京都と対照的な数値を示す、これら周辺の県が果たしている役割や機能について述べた文として適切なものはどれですか。 (2026年 福島県公立入試 類似)
1. 都心部から離れて静かに暮らしたい高齢者が集まる、限界集落としての性格。
2. 住宅地としての役割が強く、都心へ通う人々の生活拠点となるベッドタウンとしての性格。
3. 昼間の労働力を確保するために、地方から多くの移住者を受け入れる工業集積地としての性格。
4. 都心へ供給する野菜や花を生産する、大規模な農業経営を中心とした農村としての性格。
- 問2 地方別の農業産出額の構成を示した統計において、野菜の占める割合が約40%と極めて高く、花きも約8%に達している一方、米の割合が10%台にとどまっている地方があります。このように、大都市という巨大な消費地に近い利点を生かし、新鮮な野菜や花などを生産して出荷する農業の形態を何といいますか。 (2019年 奈良県公立入試 類似)
1. 近郊農業
2. 促成栽培
3. 適地適作
4. 抑制栽培
- 問3 日本の河川と関東地方の冬の気候について述べた文として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. 日本で最も流域面積が広い河川は利根川であり、冬の関東地方には南東からの季節風が吹く。
2. 日本で最も流域面積が広い河川は信濃川であり、冬の関東地方には北西からの季節風が吹く。
3. 日本で最も流域面積が広い河川は信濃川であり、冬の関東地方には南東からの季節風が吹く。
4. 日本で最も流域面積が広い河川は利根川であり、冬の関東地方には北西からの季節風が吹く。
- 問4 東京都の南に位置する横浜市は、江戸時代末の開港をきっかけに急速に発展しました。この都市の歴史的な背景と現在の状況について説明した文として、適切なものを選びなさい。 (2022年 福島県公立入試 類似)
1. 明治時代に初めて開港された新しい都市であり、現在は東京都に代わる日本の首都機能を担うため、大規模な官庁街が整備されている。
2. 室町時代から国際貿易港として栄えていたが、現在は人口減少が深刻な課題となっており、都心機能の一部を近隣の県へ移転させている。
3. 日米修好通商条約などにより開港した歴史を持ち、現在は都心部の混雑緩和や港湾機能の更新のため、臨海部の再開発が進められている。
4. 江戸時代末の開港により外国人の居留地が作られたが、現在は工業専用地域としての役割を強めており、商業施設の建設は行われていない。
- 問5 千葉港の貿易の特徴について、2021年の統計データ（総輸入額は約3兆4133億円）に基づいた背景を説明したものとして、正しい記述はどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. 輸入額の5割以上を占める石油は、主に京葉工業地域の製油所などで消費・加工されている。
2. 千葉港の総輸入額の大部分は、成田国際空港における貿易額が合算されたものである。
3. 輸出額の上位2品目である石油製品と鉄鋼を合わせても、輸出全体の1割に満たない状況である。
4. 石油や鉄鋼の輸出入が盛んであるのは、千葉港が日本最大のコンテナターミナルを有しているからである。
- 問6 東京都の昼間人口比率が100を大きく超え、全国で最も高い数値を示す背景には、どのような都市構造や社会現象が関係していますか。周辺の県との関わりを踏まえた説明として最も適切なものを選びなさい。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. 都心部の地価高騰などの影響で郊外に住宅地（ベッドタウン）が形成され、職住分離が進んだため
2. 都心部に広大な農業用地が確保され、周辺県から季節労働者が大量に流入するようになったため
3. 周辺県の産業が衰退したことにより、すべての住民が東京都内に移住して夜間人口が急増したため
4. 東京都の夜間人口が周辺県に比べて急激に減少したことで、相対的に昼間の活動人口が目立つようになったため
- 問7 ある統計資料において、都心部の地価が非常に高水準で推移しているのに対し、郊外の地価は低く抑えられており、それに伴って郊外の人口が増加している傾向が見られました。この現象の背景にある仕組みとして正しいものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
1. 住宅購入費用を抑えたい人々が、地価の安い郊外を選択して居住するため。
2. 地価が高い地域ほど生活環境が良好であるため、人々が無理をしてでも都心部に移住するため。
3. 都心部の地価が高騰することで、企業のオフィスがすべて郊外に移転し、職住接近が実現したため。
4. 郊外は都心部に比べて交通の利便性が悪いため、土地の価格が下落し人口が減少するため。
- 問8 関東地方の台地に分布する火山灰由来の土壌は、水持ちが悪く稲作には適さないという性質があります。この土地条件と、東京などの巨大な消費地に近いという立地条件を組み合わせで発展した、この地域に特徴的な農業の説明として正しいものはどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. 保水力の低さを克服するために大規模な客土を行い、輸出用の米を作る稲作
2. 水はけの悪い低湿地を利用して、れんこんなどの水生植物を育てる商品作物栽培
3. 水はけの良さを活かして、ホウレンソウやキャベツなどの野菜を育てる畑作
4. 海岸沿いの砂地を利用して、メロンやピーマンなどの温室栽培を行う施設園芸農業
- 問9 1960年代から開発が始まった大阪府の千里ニュータウンにおいて、2007年に30歳代だった人口が、10年後の2017年には40歳代となって約3000人増加しているという統計結果があります。このような、特定の年齢層の人口が10年間のうちに増加した背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 公共交通機関の整備が遅れたため、自家用車を利用する若年層のみがニュータウンの周辺部に集まったため。
2. ニュータウン内に大規模な工場や工業団地が新たに誘致され、周辺地域から多くの労働者が移り住んだため。
3. 老朽化した集合住宅の建て替えや再開発が進み、かつてニュータウンで育った世代が子育て層として再び流入したため。
4. 都心の地価が下落したことで、ニュータウンから都心部のマンションへ住み替える高齢者が急増したため。
- 問10 関東地方の北西部に位置する内陸県の一つで、利根川の上流域に広がり、県庁所在地を前橋市に置く自治体はどこですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. 茨城県
2. 群馬県
3. 埼玉県
4. 栃木県
- 問11 2015年に作成された千葉県浦安市付近の地形図において、中央を流れる河川に架かる橋（地点A）から南東へ進むと、建物が密集し細い路地が入り組んだ古い商家の建物が残る商店街（地点B）があります。さらに地点Bから河川を渡り、北西から東へと進んだ地点Cには、「文」の字を記号化した地図記号があります。この地点Cにある施設として正しいものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 小学校や中学校
2. 市役所
3. 病院
4. 警察署
- 問12 関東地方の1都6県における人口動態を分析した資料によると、昼夜間人口比率が東京都は100を大きく超える一方で、埼玉県は100を大きく下回り、群馬県は100に近い値となっています。この統計結果から読み取れる内容として、適切な記述はどれですか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
1. 埼玉県は、東京都など県外へ通勤・通学する人が多いため、昼間人口が夜間人口よりも少なくなっている
2. 東京都は、夜間に住んでいる人口が昼間に活動している人口よりも多いため、比率が100を超えている
3. 群馬県は、東京都への通勤・通学者が非常に多いため、埼玉県よりも昼夜間人口比率が低くなっている
4. 関東地方のすべての県において、昼間人口が夜間人口を上回っており、都心への集中が緩和されている